

2019年8月26日

足利大学「落雷予測システムの開発・実用化」研究に協力することについて ～足利市内3店舗に観測機器「雷雲センサー」を設置～

足利銀行（頭取 松下 正直）は、このたび、足利大学（学長 荘司 和男）の落雷被害低減を目的とした「落雷予測システムの開発・実用化」研究に協力するため、当行の足利市内3店舗に観測機器（「雷雲センサー」）を設置しますので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、今後も地元教育機関等との連携をはかり、地域の課題解決に取り組む活動を支援してまいります。

記

1. 協力経緯

- (1) 足利大学工学部山下研究室（講師 山下幸三）は、落雷の早期予知により雷被害を低減することを目的とした「落雷予測システムの開発・実用化」に関する研究に取り組んでおります。本研究では、「雷雲センサー」による落雷予測・雷発生条件の解明を目指しており、多くの観測データの収集を必要としています。
- (2) 当行は、地域の環境課題でもある「落雷による被害の低減」という本研究の目的に賛同し、地元金融機関として観測拠点に適した足利市内3店舗への「雷雲センサー」設置に協力することといたしました。
※本研究は、第2回めぶきビジネスアワードにおいて大学発ベンチャー賞を受賞しております。

2. 協力概要

内 容	静電気の観測機器「雷雲センサー」を当行の足利市内3店舗の屋上へ設置
設置店舗	東支店、葉鹿支店、江川リテールセンター
設置完了予定	2019年8月末

以 上

(別紙)

<足利大学工学部 山下研究室（大気電気研究室）について>

足利大学工学部創生工学科電気電子分野に属する研究室。雷を初めとした自然界の電気現象の理解を研究目的とし、観測に用いるハードウェアの開発や、取得データの解析・応用に必要なソフトウェア開発に取り組んでいます。また、自然科学や工学教育の導入に用いる教材開発も実施しています。

研究室の詳細：<http://www2.ashitech.ac.jp/elec/yamashita/index.html>